

SSKO

# 東腎協

80年 1月25日

No. 29

## 夜間透析と社会復帰

夜間透析を実施する医療機関が全体としてはまだ少数であることが、透析患者の社会復帰を困難なものにしている。

社会復帰をしている患者の多くは、健常者に決して劣らない働きをしており、新たな生き甲斐をもって治療と仕事を両立させている。

(全腎協事務局長・小林孟史  
一患者からみた人工透析医療より抜粋)

東京都腎臓病患者連絡協議会  
事務局 東京都新宿区下

〒161 . 電話 .  
郵便振替口座 .

加入者名、東腎協



# 年頭にあたつて思うこと

東京都腎臓病患者連絡協議会  
会長 宝生 和男

先に発表された昭和五十五年度政府予算案をみて、本年は私達患者にとつて相当地な覚悟が必要であると思われれます。

わが国の財政を再建するとの理由から大幅な予算の減額が行なわれましたが、特に私達の福祉に対する政府方針は大きく後退をし、正に福祉切捨て予算といつても過言ではありません。

過去三回廃案になつた健康保険法の改正案つまり案代二万円まで、その他入院費等の個人負担を導入することを条件としての予算が組まれています。

老人医療の一部有料化、児童手当の削減等今まで聖域とされていた分野まで及んでいます。こうした状況は次第に拡大されていき、やがては透析医療そのものにも波及されていくことになりましよう。しかも内容が低下するにもかかわらず、保険料が値上げされるという二重苦が盛られています。

一方、石油事情の悪化から発生する電気、ガス五〇%値上げ、各種公共料金等の値上げは、私達の生活を一段と厳しいものにしていくでしょう。また、私達透析には石油製品の占る割合が多く使用されているためこれらの影響は次第に大きくなっていくことと思われれます。

このように内外共に多難な年を迎えることになりましたが、私達は悲観ばかりしてはいるわけにはいきません。

私達は、折り返し点のないマラソンをやっているようなもので、あせらずいつも力を貯え、冷静な判断をもって対処していくことが特に必要であると思います。東腎協一八〇名の会員と共に手をとりあつてがんばつてまいりましよう。

# △おもな記事▽



- 年頭にあたつて思うこと ..... (2)
- 中野サンブラザで医療相談会開く ..... (3)
- 目黒駅前クリニックコンサート開く..... (4)
- 宝生会長、毎日忙しくて大変 ..... (5)
- 会員さん訪問A9V
- 市坪クニ子さん ..... (6) / (7)
- 患者のための腎臓学ANV ..... (8) / (9)
- 仲間からのたより ..... (10) / (13)
- 新聞の切りぬきから
- 腎臓移植の新法成立 ..... (14)
- 全腎協国会請願署名・募金中間報告..... (15)
- 事務局からのお知らせ ..... (16)

# 中野サンプラザで医療相談会開く

## 初めての栄養相談も好評

昨年十月七日(日)、中野サンプラザ五階研修室において「第四回腎臓病医療相談会」が開かれました。

医療相談会は、東京難病団体連絡協議会(平沢三吾会長)が都から委託されて



いる事業で腎臓病については、ここ数年一回開いています。

当日は、台風の影響で豪雨となり、予約申込者が四十八人ありましたが三十%の人がこられず三十三人の患者、家族が相談を受けました。相談者の内訳は、慢性腎炎十七人、ネフローゼ症候群六人、慢性腎不全五人、その他四人でした。

医療スタッフは、北里大学医学部丸茂文昭助教授、同大久保充人助教授、あけぼの病院南郷英明院長、同東芝林透析部長、同栄養士の増岡亨さん、東京都医療社会事業協会の相談員(MSW)十二人が担当し、また東腎協の役員八人が参加しました。

今回の特徴は、医師の相談と共に栄養相談も受けられるようにしたこと。栄養相談を担当した増岡さんは、「①具体的にドクターに言われたが②カロリー、蛋白計算が自分でできない、わか



らない③こんな物は食べてはいけない。例えば香辛料などで古い考え方が残っている人が多いようです」と相談者の印象を語っていました。

会場に相談にきた患者さんからいろいろ話を聞いた東腎協の役員は、「患者自身もつと病気のことを自覚して、病院に行けば医者にまかせつきりという状態ではないかと思えます」と述べていました。

# 大きな感動あたえ、大成功

## 目黒駅前 チャリティーコンサート開く

十二月七日（金）午後七時から目黒駅賓館において「第七回目黒駅前クリニックチャリティーコンサート」が開かれました。

チャリティーコンサートが開かれる、という新聞（夕刊）報道があったために電話による問い合わせが百件近くもあつ



収益金を受取る石川事務局長（左）

たせうで用意された椅子（百三十）もいっぱいになり盛況なコンサートとなりました。

今までは目黒駅前クリニック内の透析室で開いてきましたが、透析患者が増えたクリニック内では不可能になり前回から会場を借りて開いています。

この夜の出演者は、ピアノ岩本義哉、山田富士子、バイオリン石井志都子、チェロ雨田光弘さんでした。プログラムは「バイオリンのためのソナタ・ハ長調」（モーツァルト作曲）、「チゴイネルワイゼン」（サラサーテ作曲）、「英雄ポロネーズ」（ショパン作曲）などでした。次から次へと奏（かな）でられる美しい音色に集まってきた人は、うっとりとして聞きほれていました。また、ピアノやバイオリンを習っている小学生の姿もみられました。

「クラシックが好きな人は、透析をし

ていても悩まないじゃないか」と同クリニックで透析を受け、また職員として働いている宮内さんは言っていました。プログラムが終了すると大きな拍手がわき、出演者もアンコールに応えた後、コンサート収益金（目録）が全腎協に手渡されました。

全腎協の代理として目録を受け取った東腎協石川事務局長は、お礼をのべたと「透析患者は、今全国で約三万人います。私達のような不幸な人を一人でも増やさないために運動しています。その結果、一歳半、三歳児の健康診査の時検尿も行なわれるようになってきています。腎臓病は早期発見・早期治療が大切です。皆さんの困りにせういう人がいたら、すぐ病院にかかるようにして下さい」と訴え、会場から大きな拍手を受けました。街は師走に入っており、あわただしい毎日の最中開かれたこのチャリティーコンサートは、参加者にクラシック音楽の魅力と透析患者の置かれた状況をそれぞれアピールした、よい催しとなったことと思われま

# 宝生会長

## 毎日、東へ西への忙しきで大変です

会長といふのはとにかく忙しい。日曜日も朝早くから夜遅くまで休む間もない位相談の電話がかかってきたり、うちの腎友会で今度総会を開きますので、き

てあいさつして下さいと言われればいやが応にも出かけて行かなくてはならない。その上、まだ東腎協に加盟していない都内の病院訪問を積極的に行なっています。昨年の秋の一カ月間だけをとってみても

これだけ動き回っています。

11月8日(木)

ニール友の会会員のAさんが、さきごろ東京都新宿福祉センターに職業訓練を申し込んだところ、「透析患者は受け入れることができない」とことわられてしまったので、直接出かけて行く。主任と

会談。  
相手方の話では、「出口(就職先)のない人は受け入れるわけにはいかない」とのこと。これに対して、こちらは早急

に民生局と充分話し合う必要があると感じ、対策を立てたい。

11月11日(日)

調布病院腎友会総会に出席、あいさつする。総会は、午後一時から用かれ院長先生のあいさつ、栄養指導などが行なわれた。

11月16日(金)

十月七日(日)、中野サブプラサで開かれた腎臓病医療相談会の時、相談にきていた患者が入院してしまい、「不安で仕方がないので」という連絡を受け、入院先の荻窪病院に面会に行く。

本人は六十七歳と高令なので、透析を受けることについて大変心配していたが、まだ透析に入るには至っていないことが話し合ひの中で理解できた。

11月20日(火)

静岡県函南町山翠病院を訪問し、大島出身の透析患者の黒米三郎さんに面会、

実情を聞く。

現在、大島出身の患者がこの病院で四人透析をしているが、みな社会復帰のみならず家庭復帰にも程遠い状況がよく理解できた。

地元大島で透析病院の設置のための著名運動など取りくんでいること。大島は大変水の成分が悪く、塩分の含んだ水が多く、それだけ腎臓病患者の確率も高いこと(大島町民一万三千人に対し透析患者七人)など新しい情報も聞いた。

近く、大島を訪れて実情を調査し、東腎協としてなすべきことを煮つめていく必要を感じた。

これは、昨年十一月の宝生会長の活動を一部紹介したのですが、その他昨年の活動としては、病院・患者会訪問が大きなりくみとして行ってきました。そして、ほぼ一週り都内の病院は訪問し終りました。その結果、患者会数も今では五六に達しました。

会長には、今年もおおいに頑張ってもらわねばなりませんので、会員の皆さんも大いに応援、協力されるようお願いいたします。

## 会員さん訪問 (9)

三軒茶屋病院腎友会の

市坪 クニ子さん

日本ではじめて、透析患者の出産の明るいニュースが伝えられてから二年余経過しました。その本人の市坪クニ子さんを、三軒茶屋病院で一緒に透析をしている同病院腎友会事務局長の三ツ木脩さんと訪問しました。

渋谷から新玉川線に乗り替えて三軒茶屋下車。三軒茶屋病院で三ツ木脩さんと待ち合わせして病院に近い市坪クニ子さん宅へ。

### 透析を始めた頃

— 生年月日は。

昭和二十三年一月十二日生まれ。三十三歳です。

— 最初に腎臓病と言われたのは。

昭和四十五年三月、むくみがあったりお小水の出が悪いので、会社指定の病院へ。そこは入院設備がなかったため他の病院に母の紹介で入院しました。急性腎炎は半年位たってよくなりましたが、医者から薬を変えてみると言われ、その薬を飲んでから、またお小水が出なくなり

悪くなってしまいました。薬をやめると、またよくなりましたが、また飲まされたりして退院する頃には「透析をしなくては助からない。一回八時間位かかり、永久にやらなくてはならないので、お金が続かないだろう」と言われてしまいました。

お母さんが、その病院で働いていて同じ職場の友人から「そんな事はない」というのを聞いて住所を頼りに三軒茶屋病院を尋ねました。

そして、三軒茶屋病院に移り、昭和四十六年五月二十三日から透析を受けています。

発病の頃、食品会社に勤めていて夏はすごい冷房で疲れたり冷えたりしたのが腎臓を駄目にした原因ではないか、と思

っています。

透析を始めて一週間で五十五kgあった体重が四十kgになってしまいました。そしてお小水と生理も戻るようになりました。

最初の透析の頃は、食欲がなく食べられなくて、透析を終えると帰れなかったですね。お小水は三年間位五〇〇〜七〇〇cc出ていました。

### 結婚、出産のこと

— そして、結婚ですね。

結婚式を挙げたのは昭和五十一年十二月二十三日。主人とは健康な時からの知りあいです。

翌年一月、風邪を引き強い飲み薬を飲みました。二月頃十二指腸がよく動くのかなあと思っていたので、一応院長と相談したら、「これはおかしい。産婦人科に行ってみて下さい」と言われまし



た。子供は一生生めないと思っていたら妊娠していたのです。もう少し早くわかっていたら体重のもう少し重い子が生まれた(生まれた赤ちゃんは一三二〇g)のではないか、と思っています。妊娠と気づいてからは一週間に四〇〇cc位の輸血でかゆくてたまりませんでした。頭の先から足の裏の方まで。

子供が生まれてからは、小水も出なくなつて体重も増えきみになつてしまいました。ただし食欲も出てきました。データーが悪くなった反面、ヘマトクリットがよくくなりました(20/25位)。

子供が小児センター(国立小児病院)から退院してからは、病院に通院する日

だけ保育ママさんに預けました。しかし透析をやる時になって「高熱でもどしていただけますか」に引きとって下さい」と病院に電話がきて困ったことがあります。翌五十三年区立の保育園に入れる三ヵ月間位は、保育ママさんがもう預かれなと言われ、仕方がなく病院の看護婦さんの紹介してもらった所で預かっていただきました。

朝、病院に行く日は主人にトラックで保育園と病院へ送ってもらい、帰りはバスに二回乗り換えて迎えに行きました。途中で疲れて親子二人で道端にしゃがみ込んだこともよくありました。一日おきで月四万円位。この時は、とにかく大変でした。

### 透析が週二回になりたい……

— 全腎協機関誌40号に市坪さんに次いで二番目に子供を生んだ人が載っていましたが、子供を生むということに對してどう考えていますか。

— なによりも意志が大切だと思います。絶対生まなくっちゃという。

— 子供を生んだ後、カルシウムが低くて

リンが高くなつていくみたい。どうも子供にずいぶんカルシウムがとられるみたいですね。

— 現在の生活、また今一番何を望んでいますか。

— 透析日は月、水、金。午前九時から午後二時まで。その日は十五分歩いて保育園に子供を預けてから病院へ。透析を終わったら買物をしてお迎えに行きます。

— 私が今一番望むのは、透析時間が長くなつてもよいから週二回透析になれば……なあと思います。

— 終始淡々と語る市坪さんの話を聞いて一番印象に残ったことは、どんな苦労があつてもくじけず、前向きに生きようとされていることです。もちろん、それにはご主人の愛情も忘れるわけにはいかない。これからも一家で助け合つて、よい家庭を築くだろうと私は確信しました。

(聞き手・加藤)

# 患者のための腎臓学(Ⅳ)

都立大久保病院腎不全センター

井上 篤

## ◎腎不全の病態生理

第一回目の腎臓の働きの項をもう一度思い出してみて下さい。腎不全というのは、こういう腎臓の働きが十分にできなかった状態を言います。腎不全の成立のしかたにより急性と慢性とがあり、急性の場合は更に(a)大量出血などのように腎前性に原因がある場合、(b)急性糸球体腎炎のように腎そのものに原因がある場合、(c)尿路結石のように尿路閉塞し腎後性に原因がある場合、と分類されますが、急性腎不全では、その原因・程度によつて、回復し得る場合があり、この点が、急性と慢性では大きく異なる所です。ここでは、長期に腎不全が続いている慢性腎不全では、どういふ事が起こってくる

かという病態生理について述べたいと思います。

### (1) 循環器系

(a) 高血圧… 血圧は動脈の中を血液が流れている時の圧力ですから、一定の容積の血管の中を沢山の血液つまり、沢山の水分と塩分が流れる場合高血圧となります。又、血管そのものの容積が小さくなった場合も高血圧となります。腎不全では排泄されるべき、水分塩分が貯留し高血圧になる型が大半で、この場合、透析などで除水すれば、高血圧は是正されてきます。しかし除水しても降圧しない型もあり、この場合、腎からレニンという血管を収縮させる物質が多量に分泌されていたり、既に血管そのものが、硬く

なつてしまつていふことによるものです。高血圧が続くと心臓に負担がかかりますし、脳卒中などの血管破綻の危険があり、十分な治療が必要です。最近透析患者さんの中で、逆に低血圧となり、透析中に血圧低下して除水困難な方が増加していますが、血管運動神経の失調で、血管が広がり過ぎていふ為と考えられています。

(b) 心不全… 高血圧と同様に、水分塩分の過剰があれば、心臓は沢山の血液を循環させなければなりませんから、負担がかかります。

又、尿毒症性物質は肺の毛細血管の透過性を化学的に充進させ、肺胞に水分を滲み出させてしまいます。電解質異常(例えば高K血症)で不整脈が多発したりすることも影響があります。これらを予防するためには乾燥体重の維持と、心電図、胸X-I P上の心胸比測定(心陰影と胸部の比)血液検査などが定期的に必要と思われれます。

(c) 心外膜炎… 心臓は心のうという袋に包まれています。心臓の外側に血液みたいな液が貯留し、心臓の収縮を圧迫し、心不全となります。検査では、胸X



IPの他、UCG(超音波心断層図)が有効です。

## (2) 造血系

腎不全では、貧血が必発です。赤血球が、尿毒症性物質と一緒に環境で生活しているため、壊れ易いということ、腎より赤血球を造れと命令するエリスロポイエチンの分泌量が少なくなることで、これが主な原因です。十分な透析で環境を清くすること、赤血球の構成に必要な材料(蛋白、ビタミンB12・葉酸鉄分など)の不足のないような食事を摂ることが対



応策となります。エリスロポイエチン様の作用を期待して蛋白同化ホルモンが薬として有効なこともあります。

## (3) 代謝系

(a) 蛋白質・・・腎不全で透析前は蛋白制限を受けたと思いますが、尿素・クレアチニンは蛋白質の老廃物だからなのです。透析が始まれば、これらは透析で除去できるので制限はなくなりです。蛋白はアミノ酸の集合体です。アミノ酸の種類によつては不足しているものも過剰なものもあります。体内で合成できない必須アミノ酸の多い蛋白価の高い食物は推奨されます。

(b) 炭水化物・・・腎不全では糖尿病と同様に耐糖能の異常が起こり易くなります。糖分の代謝を調節しているインシュリンというホルモンの効き目が悪くなったり、尿毒症性物質が妨害しているためと考えられています。

(c) 脂肪・・・総コレステロール、中性脂肪などが高くなる例が多く、脂肪を分解する酵素の活性が尿毒症性物質のために

低下しているためと考えられています。残念乍ら十分な透析をしても著明な改善を得ることは少ないようです。

(d) ビタミン・・・水溶性ビタミン(ビタミンB群・C)は透析されてしまいますので、偏食しないで摂取する必要があります。薬として服用するのも一法でしょう。

## (4) 骨格系

最近特に透析患者さんの社会復帰を阻害する因子として、骨痛・骨折し易いなどを主徴とする骨代謝異常が注目されています。

腎不全では、ビタミンDを活性化することができないので、腸から食事中的カルシウムの吸収が低下し、代わりにリンの吸収が進んでしまいます。低下した血中カルシウムを補う目的で、副甲状腺ホルモンを介して骨からカルシウムが遊離し、カルシウムの少ない骨になってしまいます。骨は脆くなってしまつてからあわてても後の祭りになってしまいますので、アルミゲルの服用によりリンを吸収

させないこと。透析ではカルシウムの補給とリンの除去、状況によっては、最近できた活性型ビタミンD剤を服用することが必要となるでしょう。

## (5) 消化器系

食欲不振・悪心などの症状はどんな病気でも出易い症状ですが、腎不全で注意しなければならぬのは、出血性胃炎・胃十二指腸潰瘍などからの吐血・下血でしょう。出血傾向・精神的ストレスなどが原因と思われます。それから、貧血を自力で克服する努力が足りないとい輪血による肝炎も恐れ存在です。

一般に腎不全では免疫能が低下してしまいますので、肝炎や一般感染症に対しても治療が遅い傾向にあります。

## (6) 神経系

中枢神経系では、尿毒症のひどい時には、痙攣や意識障害が出現します。透析患者さんでは、頭痛・悪心などを呈する不均衡症候群が悩みの種です。これは、

透析により、急激に血液が浄化される反面、脳の組織液の方は、緩余に浄化され、滲透圧や組成の面で、脳と血液の不均衡が生ずるための症候群と解されています。緩余な透析が推奨される由縁です。末梢神経では、しびれ感・足の置き場がない感じなどの末梢神経障害がありますが、神経伝達速度測定は参考になり、十分な透析が対策です。

以上、腎不全の病態について簡単に述べてみました。単に小水を作る臓器と思われ勝ちな腎も、一旦、機能低下してしまると、全身的な変化を起こすことを理解していただけたと存じます。



会費未納の方は  
至急納入して下さい

昭和五十四年度の東腎協の活動も残りわずかとなりました。昨年度は、災害時における透析治療確保の運動をはじめ池袋駅頭でのドナーカードの配布、医療相談会などの運動を行なってきました。

運動を行なう上で欠かせないものは資金ですが、まだ昭和五十四年度分の会費を未納の患者会、会員の方がいますので至急納入して下さいようお願いいたします。会費の納入方法は次のとおりです。

### ※会費の納入方法※

郵便振替が現金書留で事務局へご送金下さい。会費は、一人年間二四〇〇円です。

郵便振替

加入者名 東腎協

現金書留 〒161新宿区

# 仲直がのたよこ



え・館林ゆうこ（ニール友の会）

## 透析医療にたずさわる職員 の退職は大変不安を感じる

匿名

私達患者は一抹の不安を抱いている。私達が、透析治療を受けている病院で最近、特に変わった現象がおきている。そのことは、私達患者にとっても大変な出来事であり、精神的にも不安をかかえている。

それは、私達が日頃もつとも信頼し、敬意を持っている透析治療に従っている職員の退職である。私達は、この職員の方との間が何よりも一本の絆として結ばれることによって安心して治療を受けられるのである。

しかし、最近に限らずここ二～三年を振り返ってみると、指導的立場にある人等を含めて、多くの職員が病院を去っていくことは、私達患者に大きな不安を抱かせることを病院側、特に院長など関係者は考えてみたことがあるだろうか。

ある日、信頼する人が私達の前から遙か彼方に去っていく。それが次から次へと続くことが最近の傾向である。このこ

とは、一体何を意味し、その裏には何が原因しているのだろうか。事実、そのような話を耳にしたこともしばしばある。

指導的立場にある中堅の職員が退めていくことは、若い職員の不安にも繋がることで、欠員が出たら補充すればよい式の考え方は質の低下に結びつく。私達患者は、不安をより大きく持つことになる。こうした現象が今後も続くことは、

私達自体も今後の問題を同じく考えさせられることになる。そうしたことを避け、不安をなくすためにも、こうしたことのないよう善後策を検討され不安なく治療出来るよう一日も早く改善し、私達の不安を取除くよう努めてほしい。また、このようなことが、いずれ患者と病院との不信につながっていく。従って、真剣に検討されることを要望します。



機関誌の原稿  
募集しています



機関誌には、なるべくたくさんのお便りを載せていきたい内容ですので、次のようなものをご送付下さい。

- 闘病体験
- 患者会の催し(旅行、総会、エピソードなど)
- 詩、短歌、カットなども

<送り先>

〒161 新宿区下落合3-15-29  
田沼ビル(第二)  
東腎協機関誌係

淡い光を燈している玄関をめざして歩



チャリティーコンサートは  
生きる希望を与えてくれた  
目黒駅前クリニック腎友会  
山口 建三

いて行くと、思いがけなく美しい女性が四、五人一列に並んでいて驚かされた。彼女達は、今日のチャリティーコンサートに協力してフロント係を受け持った顔見知りの看護婦さんである。

コンサートは、河野南雄先生のあいさつに始まり、モーツァルト、サラサーテ、メンデルスゾーン、ショパン……と名曲の調べが続く。目を閉じて聞き入るうちについ半年前の我が身が思い起こされる。灰色の濃淡の日々、そして死の応接室に座わらされて、今にも死神が現われるのではないかと怯え、目を凝して扉をじつと見詰めていた哀れな自分の姿……しかし今その扉も、八〇年の暮開けの扉

に塗り替えられ、生きがいの扉に変わっている様子が脳裡を掠めた。なんと幸せであらうか。今ここに自分の目、自分の耳、自分の肌で直接感じる生の演奏は、今生きている喜びを再認識させてくれる。加えて今日のコンサートは、真心のストーリーングスであり、その感動はより深まった。最後に「みなさん、この病気で苦しむのは我々だけでたくさんです」と力強く訴えた、東腎協代表のお礼の言葉は、この催しを締めくくるにふさわしい言葉であったと思う。

地球の軋む音がゴウゴウと聞こえてきそうな師走の喧騒のなかについて、心やすまる一時を持たたことは、明日への活力になるに違いない、廻りの人々の真心に拍手を送ろう……。

すがすがしい夜気のなかを家路に向う足取りは軽かった。

(一九七九年十二月七日)

## 歌あり踊りありの 楽しい楽しい忘年会

東村山康腎会

渡辺多加代

十二月九日(日)、康腎会恒例の忘年会。毎年少しでも楽しい企画をと、役員一同頭をひねってみるのですが、いつもただ飲んで食べて雑談で終ってしまふところが、今年は新入りのKさんが見事な安来節を披露してくれたので、次から次と出し物があり、予定の時間はアッと言う間に過ぎて一時間延長してのにぎや



見事なKさんの安来節

かな忘年会となりました。

お忙しい中を院長先生も出席して下さい、淡いので軍歌なども聞かせてくれました。一週間に三回顔を会わせている仲間の意外な一面を見ることが出来、私自身もひどい音痴もおかまいなく友人二人と即席のキャンディーズとばかり、マイクの前で歌手気取り……。今年聞き手だった人も、来年は是非何かやりたいと、もう心待ちにしている様子。

出席者のどの顔も、健康人となら変わらぬ。

患者会が出来た当時と比べると倍以上にもなり、現在は六十名の大所帯。今年参加者が二十五名程でしたが、来年はひとりでも多くの人が出席して、今年以上に楽しい忘年会になることを祈っています。

## 蔵王、箱根の旅行より

登り行くバスの窓へに山坂

まだ遅き春の風情見せをり

をちこちに残雪ありて若者等

スキー楽しめり蔵王山頂

我が宿は八角にして残雪の

蔵王山頂室より見ゆる

宿に目覚め窓より見れば一面に

もやわき上り視界かくせり

南湖園の岸辺の緑あざやかに

小雨の中を行くポートあり

新緑の雨にぬるるは目に痛し

帰りのバスに人皆眠る

(ニール友の会機関誌56号「文芸コーナー」川久保さんの短歌より)

## 腎臓移植の新法成立

死体の臓器使用 本人と遺族の了承で

超党派の議員提案による角膜・腎臓移植法案が十一日の参院本会議で可決、成立した。同法案は三十三年にできた角膜移植法を腎臓移植にも広げたもので、死んだ人の腎臓を生体に移植し、腎機能障害に悩んでいる人を救いやすくなるのが主眼。来年三月にも施行される。

厚生省の調査によると、腎臓移植は日本ではこれまで約千二百件行われており、そのうち九割近くが生体間の移植となっている。死んだ人の腎臓は、死後九十分以内に取り出して冷却保存すれば、二十四時間以内の移植が可能だが、これまでは①遺族の了解がなかなか得られないため、死体腎の提供が進まなかった②刑法の死体損壊罪に触れないか、との不安もあった、などが原因で、死体腎移植があまり進まなかった。

今度の法案では死体腎移植を促進するため「本人が生前に死後の腎臓提供を文書で申し出ており、遺族が摘出を拒まない場合」は死体腎を取り出すことができると定め、「本人の生前の意思」を重んじている。

なお、腎移植のセンターとして国立佐倉病院がすでにことし四月から死体腎の提供を受けた一人千二百人の名簿をそろえるなど活動しており、民間の腎臓移植普及会（本部、東京都港区新橋二ノ二〇ノ一五、新橋駅前ビル一号館八〇二号室）には約六千八百人がすでに「死後の腎臓提供」の登録をしている。

（朝日新聞12月11日夕刊）

## 全腎協事務局募集

募集人員 一名

資格

①患者会活動に熱意ある透析患者で、火・木・土の準夜又は夜間透析可能な会員②18歳以上30歳未満③性別、学歴不問、高卒と同程度の学力ある方④通勤時間60分以内の方

勤務地

全腎協事務所（白目駅7分）

勤務時間

午前10時～午後6時

待遇

全腎協給与規定による（20歳で月約9万円）、週休二日制（会議等の場合は土、日出勤あり）、交通費実費支給、社保なし

仕事内容

渉外・医療生活相談・会報等

応募

2月末迄に履歴書を送付の事

選考

書類選考の上、作文・面接等

採用日

28回幹事会で決定

問い合わせ

昭和55年4月1日より

全腎協事務局へ

03(952)5340へ

全腎協国会請願署名・募金中間報告

( 54.12.20 現在 )

順	腎友会名	会員数	署名数	募金額
1	飯田橋腎友会	33	184	16,300
2	池之端クリニク腎友会	57	357	16,500
3	エバフ病院腎友会	15	208	21,120
4	大久保病院腎友会	2		
5	大田病院腎友会	12		
6	織本病院腎友会	57	676	72,150
7	北病院腎友会	38	523	34,300
8	杏林腎友会	16	350	18,200
9	厚生年金病院腎友会	3		
10	国立王子病院腎友会	35		
11	こぶし腎友会	11	180	15,228
12	幸クリニク竹馬会	11		
13	三軒茶屋病院腎友会	242	1,690	113,500
14	新・新宿クリニク腎友会	15	15	1,500
15	城南クリニク腎友会	15		
16	昭和大学病院百合の会	8	87	16,960
17	人工腎臓虎の門会	50	900	24,250
18	帝京大学病院腎友会	28	137	18,500
19	東一腎友会	5	37	12,410
20	東京共済病院腎友会	6	61	
21	南千住クリニク何重会	9	64	11,620
22	豊島中央病院豊生会	30	260	22,960
23	ニール友の会	230	4,264	245,255
24	西新井病院腎センター友の会	50	400	20,000
25	日本医大附属病院腎友会	2		
26	西熊袋栄明会	13	220	21,250
27	フエニククス会	47	622	34,500
28	東村山康腎会	56	1,304	72,485
29	聖友会四谷クリニク腎友会	16		
30	四谷三和クリニク腎友会	10		
31	佐々木病院腎友会	60	942	39,659
32	両国クリニク腎友会	7	66	34,53
33	立川クリニク親睦会	29	722	5,580
34	南多摩病院桜会	18	318	23,528
35	しろかね会(目黒駅前クリニク)	35	319	21,800
36	中島病院腎友会	9	158	15,000
37	島田総合病院わらべの会	17	240	12,100
38	京業病院友生会	6		
39	三の輪病院腎友会	6	10	1,000
40	長原三和クリニク腎友会	10		
41	聖友会西新宿病院腎友会	42	568	24,100
42	立川共済病院腎友会	9	81	6,590
43	大和病院透析友の会	31	303	30,360
44	月島サマリア腎友会	30		
45	立川第二相互病院希望会	15	212	6,860
46	腎研友の会	5	67	
47	新宿三井ビルクリニク腎友会	9		
48	調布病院腎友会	75	536	3,500
49	入谷クリニク腎友会	7	133	10,500
50	日伸ビルクリニク腎友会	13	29	6,500
51	一つ橋腎友会	3	10	3,000
52	彌生会(市宮外科病院)	13		
53	国立王子病院腎友会サンシャイン会	25	396	31,064
54	・千・タリ腎友会	5		
55	今尾医院	13		
56	三和クリニク(立川)	3		
	都職労西視文部(渋谷分室)		180	24,137
	俱人會	(33)102	963	131,830
	事務会		414	32,800
	合 計	1,719	19,206	1,242,349

# 事務局からのお知らせ

よろしく

お願いします

(54年10月12月まで)

△個人会員入会者▽

54年12月

内田祐吉

△患者会入会▽

54年10月

今尾病院患者会

▽140品川区東大井5の19の5 第11

下川ビル 今尾病院内

会員数 十三名

## 東腎協内に

### 災害対策委員会設置決める

東腎協では、九月の常任幹事会で承認された災害時における人工透析治療の確保についての要望書を東京都各局へ提出しましたが、さらに万全の措置を図るために、必要な問題を討議する機関として小委員会を設置する事になりました。小委員会の名称は災害対策委員会とし

規約も定めました。その目的は、「災害時に東腎協としていかに対処すべきか、また都に何を望むか等、考えられる事態のすべてを討議して常任幹事会の活動の指針とする事を目的とする」(第四条)です。

年賀状をたくさんいただきました

お礼を申しあげます

△全腎協からの年賀状から▽

二万人の会員をはじめとする腎臓病患者のいのちとくらしを守るため、今年もがんばります。

とりわけ「私たちの苦しみは、私たちだけでたくさんだ」を合言葉に、予防対策を中心とする腎臓病の総合的技術的対策の確立を求めて運動を進めます。一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

◎ 新年度役員候補者推薦のお願い

東腎協の今年度の活動も残りわずかになりました。来る四月には第八回総会を開くため準備を進めています。つきましては例年のことながら、昭和

五十五年度の役員候補者を東腎協規約八条により推薦して下さるようお願いいたします。

○ 幹事候補者―各患者会一名

○ 常任幹事候補者―各患者会で東腎協の活動ができる人

△東腎協規約抜粋▽

第8条(幹事会)

幹事会は幹事、会長、副会長、事務局長、事務局次長、会計および常任幹事会から推せんを受けた者を総会において選出する。

第9条(常任幹事会)

常任幹事会は会長、副会長、事務局長、事務局次長、会計および常任幹事会で構成し、総会、幹事会の決定にもとづいて、当会の運営に責任をもつ執行機関であり、必要な時適時開催する。常任幹事会の活動は、次の幹事会に報告し承認を得る。

△編集後記▽

80年代が始まったといっても、目の前にあるのは公共料金の値上げ、福祉切り捨ての方向で私達患者にとって決していい幕明けてはないが、ともかくみんな力で合わせて頑張らましよう。(加藤)

昭和五十一年二月二十五日第三種郵便  
SSKO通巻第四百二十五号  
昭和五十五年一月十四日発行

発行所

身体障害者 身体障害者  
東京都世田谷区砧八一―一三 領価百円